

囲碁・将棋大会

市内の囲碁・将棋同好会の12月の例会結果です

福津市将棋同好会

今回は、3月11日(土)10:00から受付、大和町公民館で開催します。

	1位	2位
A	北原 秀誠	川端 政憲
B	村本 健次	松田 滝男
C	中村 勝利	安波 寛
D	椎名 淳	井上 安高
E	高田 治夫	安本 辰男
F	遠藤 誠	三村喜久男

■吉村 友行 ☎43・1308

福津市囲碁会

今回は、3月19日(日)10:00受付締め切りにより、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	福田 豊	向井 麻郎
2	大野 政嗣	箱島 孝
3	田中 英則	松本 正美
4	松尾 正久	中嶋 孚
5	森北 新吉	小田 邦彦
6	桜井 峰治	柳川 満
7	山本 正三	高木 正信

■井本 雅文 ☎090・9796・1099

紙面の都合上、上位者のみの掲載です。

福津市実年囲碁会

今回は、3月7日(火)、3月28日(火)10:00受付締め切りで、市中央公民館和室で開催します。

	1位	2位
1	魚住 洋二	今丸 濱
2	尾崎 銀二	的野 信行
3	田中 英則	山崎 和夫
4	藤井 修	山口 忠男
5	柴田 繁男	花田 和彦
6	吉田 弘美	阿部 学
7	能美 一丸	宗平 正
8	灘邊 英雄	荒巻 渉
9	肥高 勲	佐藤 亘弘
10	山本 正三	森山 英明
11	堺 高之	三浦 徳正

■満生 忠雄 ☎43・2420

津屋崎囲碁同好会

今回は、2月26日(日)10:00受付締め切りで、福津市文化会館で開催します。

	1位	2位
A	今泉 武志	魚住 洋二
B	中嶋 孚	井本 雅文
C	永島 和美	伊藤 重信
D	竹山 晃	白石 尚史

■永島 和美 ☎52・5610

(敬称略)

地域の日

●市郷育推進課 ☎62・5078

市では、奇数月の第3土曜・日曜日を「地域の日」と定めています。あなたも地域活動に参加しませんか。

地域のかたと楽しい交流



▲自然に笑顔になりました

12月15日に津屋崎中学校で、トークフォークダンスが開催されました。保護者や多くの地域のかたの参加があり、最初は緊張していた中学生も、時間が経つにつれて、身ぶり手ぶりを入れ、福津市の良い所や将来の夢など、夢中で話をしていました。最後には、「もっと話したい」「次も参加したい」という声が聞こえてきました。

あじさいロード

[地域婦人会だより]

具体的には、①災害時には、電話や携帯電話はつながりにくくなるので、誤報やうわさに惑わされず、テレビやラジオ等を準備して正しい情報を得ること、②強い揺れが起きたら、自分の判断で高い所へ避難し、海や川には近づかないこと、③地震時には、まず落ち着い

て身を守り、玄関や外に通じるドアを開けること、④避難する時は、靴やスリッパを履き、火を消して電気のブレーカーを切ること、⑤日頃から水や食料を3日分備蓄しておくこと等の基礎知識を学びました。研修を受けて「災害はいつ起こるか分からないので、今回のような研修会や訓練を重ね、自助力や共助力をつけることが大切だ」と強く感じました。皆さんもぜひ、私たちと一緒に学んでみませんか。

問い合わせ 志満 ☎43・1189

このコーナーでは、地域婦人会の活動を紹介します。花見支部 松川洋子

アンビシャス広場

●市郷育推進課 ☎62・5078



アンビシャス広場とは、子どもたちが放課後や休日に地域で安心して立ち寄りことのできる「居場所」です。

神興東アンビシャス広場「文化祭を通して」



▲完成したダンボール迷路

神興東アンビシャス広場は、10月に行われた小学校の文化祭で、お菓子の星をテーマにダンボール迷路を作りました。ダンボールには、子どもたちが書いた絵やお菓子の空箱を貼ったり、絵具で色を付けたりして飾りつけをしました。協力しながらできていく迷路に、子どもたちの目は、キラキラと輝いていました。2日間の文化祭で1000回以上も利用してもらえて大盛況でした。

心の歌

市内の愛好会のかたの作品です。一般投稿の締め切りは、前月15日です。

受付 市中央公民館 ☎43・2100 FAX 43・2868

【虹の会】

今日だってミッキーマウスおどってる 小ニ藤本 心
 囀りを音譜にのせて初春を弾く 柳田 涼子
 まだ若い老いらくの恋ツーショット 井上 國治
 将来にもしもが付けばシンデレラ 小村ふみ香
 好きですと言えずに渡すチョココレート 久保山裕昭
 躓いてふり向く先に段差無し 空谷 弘道
 クラス会みんな笑顔でまた逢える 村山 明美
 還暦を家族で祝う隠し芸 宮本 喜美
 里帰り乗降者なし無人駅 百武 海子
 折尾駅高架を歩くヘルメット 河内やすこ
 一センチ伸びてうれしいキリンの背 水谷そう美
 黒柿のはがきの重さ冬の雨 中山 きえ
 琴線に触れて乱れる春の蝶 櫻根 わ子
 何事も家族平和の一步から 長井 兼春
 三ヶ日過ぎて年賀を書いてます 安井 秀子
 姿見の中で女神と入れ替わる 長井すみ子
 ひたすらに真四角な石積んで来た 東 浩子
 あれななに澄んだ瞳は裏切れぬ 中村 穂
 ほんとうの豊かさを知る川遊び 下釜 京
 【わたつみ短歌会詠草】
 草中を群れて咲きいるオシロイバナ 島崎 渚
 小女の爪を染め遊びしも 島崎 渚
 咲き継ぎしオシロイバナの赤消えて 島崎 渚
 道辺の草むらなべて秋色
 寮養の留守宅荒れて中庭に 銭花 治代
 古い猫動かずもみじ襦に 富田 浮風
 彼岸花あるかなしかの風にゆれ 富田 浮風
 里の畑道十字に標す 野部フクヨ
 孫むすめ姿より早く皮をむき 野部フクヨ
 柿ののれんに喝采している 山形 四郎
 ゆく雲にもささやきかける微風にも 山形 四郎
 心があると読めぬのか君 北富れい子
 風花を追へば仕草の童女めく 藤井 和子
 古稀を越えたる君の若さよ 藤井 和子
 【一般投稿】
 梅が香に浮かれてしばし野に遊ぶ 藤井 和子
 陰日向里山遠し黄水仙 本間 碧水
 振り返り花ゆれるえがおの母の顔 宮本 瞳
 しんとして今宵の月の高さかな 管田 圭秀
 お年玉孫子つたい銀行へ 古賀新太郎
 下手な文字賀状に浮かぶ温かさ 中島 久次
 寒空の梢に鳥一羽おり 中島 久次
 大枯野列車の軋み残りけり 香月 常彦
 優言葉老いて身に染む初笑い 佐々木 牙子
 シューズ替へ春を歩くよかかどから 川本 幸重
 年賀状かざして駆け来る幼児の 方木 修一
 声が清むる老いの初春 方木 修一
 勝浦の若宮神社の大樟の 佐々木 和彦
 木漏れ日揺れぬ春風のなか 佐々木 和彦
 マイナンパー見せて天国断われ 宙 燃
 歳がたらぬかめざすぞ九十予約権 坂口 怜子
 辛子練るたちすぎたるか食べる者 坂口 怜子
 皆鼻つまみ涙流しぬ 阿部 英子
 対馬から四十五キロ韓国は 阿部 英子
 曇りて見えぬ次の機は 阿部 英子
 はやおきはとてもたいへんいやだけど 小ニうどう光き
 がっこうのしきゅうしよくおいし 小ニうどう光き